

4つの炭酸ガス施用方法が選べる！

ダイニチ光合成促進機は、ご使用になる方のお考えに合わせ、最大の効果を得るための4つの運転パターンをお選びいただけます。

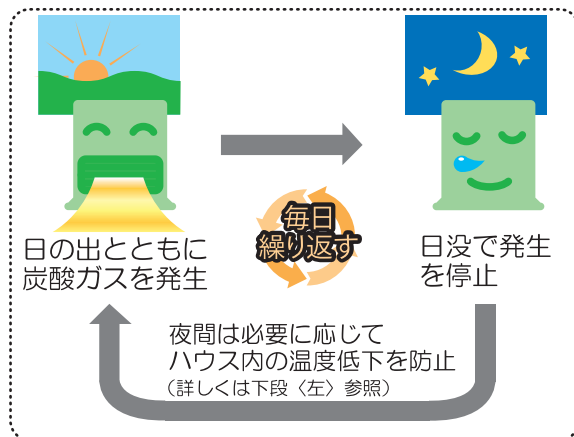
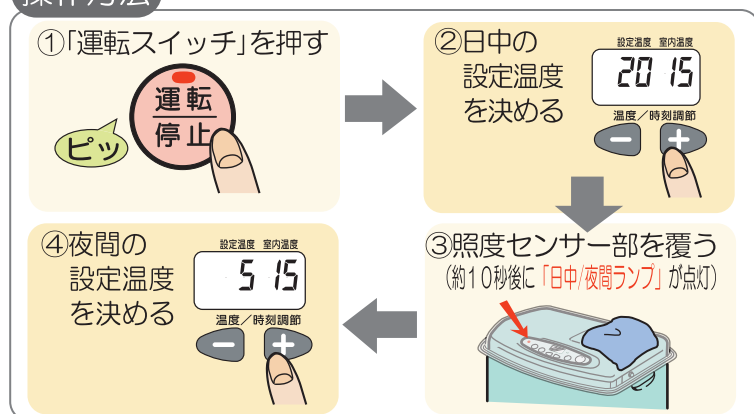
施用方法

その1

照度センサーにおまかせ

日の出とともに運転を開始。夜になると自動停止します。
植物の光合成作用が行われる日中に炭酸ガスを発生させ、光合成を促進させます。

操作方法



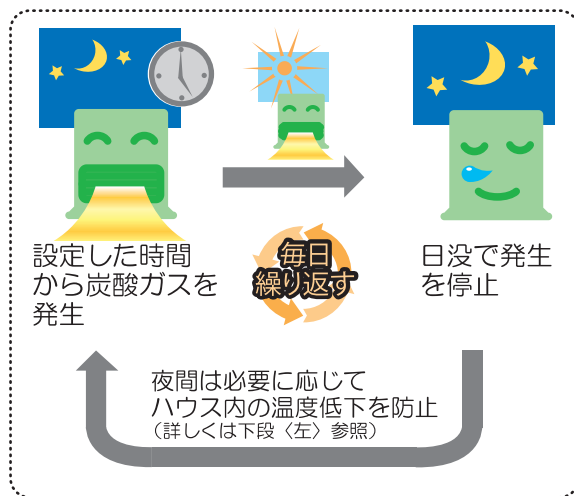
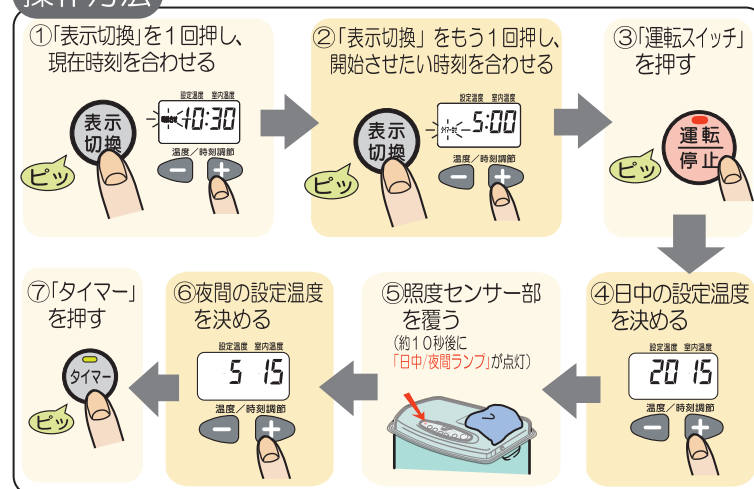
施用方法

その2

タイマーで日の出の前から運転開始

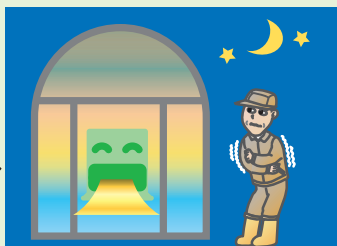
日の出前からハウス内の炭酸ガス濃度を上げておき、植物の光合成作用が一番活発な日の出とともに十分な光合成効果を得たい時に使用するモードです。

操作方法



夜間の加温効果について

施用方法「その1」「その2」で運転の場合、夜間にハウス内の温度が「夜間の設定温度」より下がると、燃焼を行ってハウスを加熱します。



ただし、効果は小さいハウスに限ります。内張りのないハウスや大きいハウスでは、効果はほとんどありませんので、他の加温機と併用することをお勧めします。

夜間に温度設定をするとき

上記温度設定の方法は、日中（「日中/夜間ランプ」が点滅しているとき）を前提にご説明させていただいております。夜間（「日中/夜間ランプ」が点灯の場合）に昼間の温度を設定するときは、懐中電灯等の明かりを照度センサー部にあてて行ってください。（光を当てると、約10秒後に「日中/夜間ランプ」が点灯から点滅に変わります。）

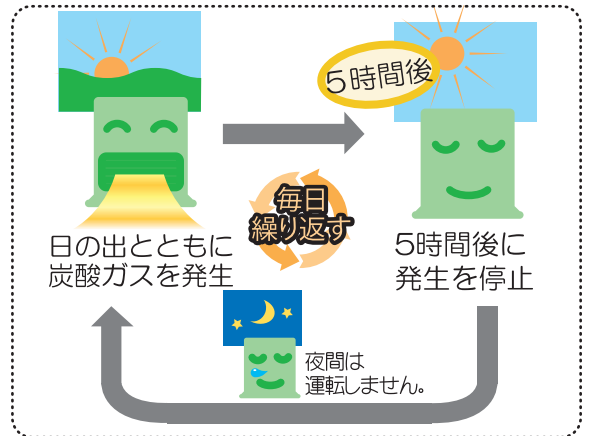
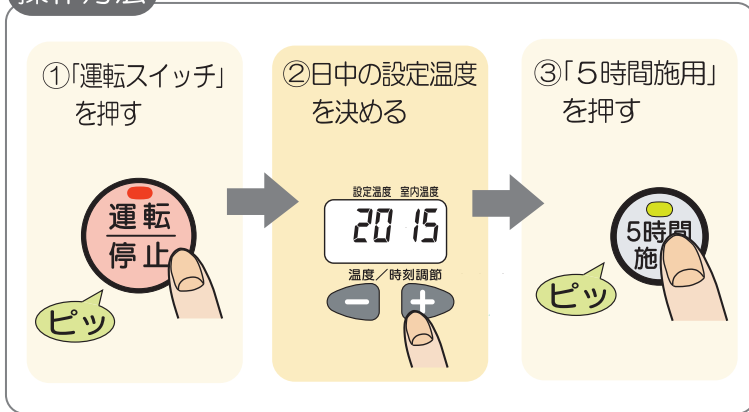


施用方法

その3 照度センサーによる5時間施用

光合成作用が活発となる時間帯は太陽光の短波長率の大きい午前中と言われています。このモードでは日の出とともに運転を開始し、その後5時間だけ炭酸ガスを施用しますので、灯油の消費量を節約して効率的に施用できます。

操作方法

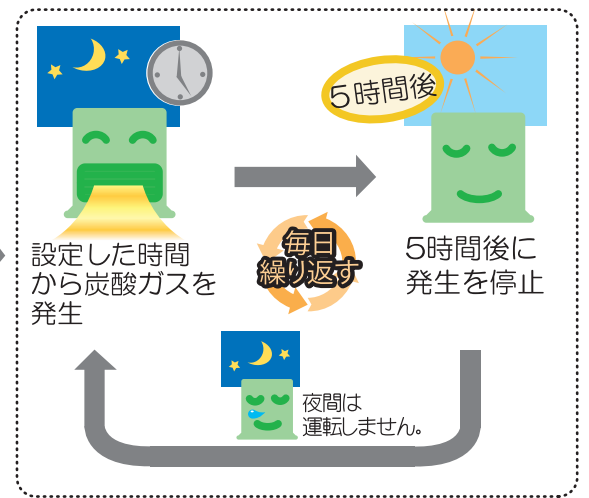
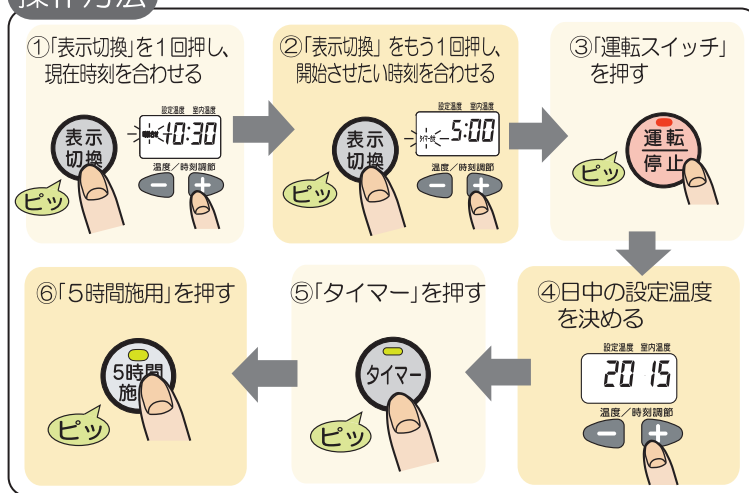


施用方法

その4 タイマーによる5時間施用

設定した時間から5時間だけ炭酸ガスを施用します。灯油の消費量節約に有効です。

操作方法



施用時間と炭酸ガス濃度について

■ハウス内炭酸ガス濃度目安表

[ppm]

換気率	60坪ハウス			100坪ハウス		
	0.3回/h	0.5回/h	1回/h	0.3回/h	0.5回/h	1回/h
0	350	350	350	350	350	350
0.5	795	770	725	617	600	575
1	1170	1100	950	843	800	710
1.5	1500	1353	1089	1040	952	793
2	1780	1550	1172	1206	1070	843
2.5	2020	1705	1222	1353	1164	873
3	2230	1826	1253	1477	1236	892
3.5	2410	1920	1271	1586	1292	903
4	2563	1993	1282	1678	1336	910
4.5	2697	2050	1290	1758	1370	915
5	2810	2094	1294	1826	1396	916

【目安表の算出基準】

- 1: 開始前ハウス内及びハウス外濃度は350ppmとして算出。
- 2: 炭酸ガス濃度は最大連続燃焼にて算出。(4.3kW)
- 3: 植物の炭酸ガス消費分は差し引かれておりません。
- 4: 換気率はハウス密閉度、内張り有無、内外温度差等で異なります(「換気率1回/h」とは、1時間にハウス内空気がすべて入れ替わることです)。